【あ】

RC支柱

Reinforced Concrete(レインフォースド コンクリート)の略で、鉄筋コンクリート支柱のことです。引張力に強い鉄筋と圧縮力に強いコンクリートの双方の利点を一体化した構造です。

ICT

Information and Communication Technology(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)の略で、「情報通信技術」のことです。情報やデータ収集、送信、共有を行うための技術を指します。パソコンやインターネット、スマートフォンなどが含まれており、私たちが効率的に情報をやり取りできるようにする技術で、さまざまな場面で活用されています。

ETC2.0

道路上に設置されている路側機と、車両に設置された ETC2.0 対応車載器との相互通信により、交通情報等の道路情報のドライバーへの提供や、車両の走行履歴や挙動履歴(急ハンドル・急ブレーキ等)等のデータを双方向通信で収集が可能なシステムのことです。数多くの車両の走行履歴情報を活用することで、より高度で多彩なサービスの提供が可能となります。

ウォーカブル

「ウォーカブル」(walkable)とは、歩行者が快適かつ安全に歩ける環境が整っている状態を指します。特に街やエリアが「歩きやすい」「歩行者に優しい」といった意味を持ちます。

たとえば、歩道が整備されている、交通の流れがスムーズで歩きやすい、安全で快適に歩けるような環境を指して「ウォーカブルな街」「ウォーカブルなエリア」などと言います。

【か】

カルバート

道路や鉄道の下を横切るために設置されるトンネルのような構造物です。これによって、道の下を水や車両、人が通ることができます。たとえば、雨水を道路の反対側へ流すための小さな橋のような役割を果たしたり、動物が安全に道を横断できるように設置するものです。

環境モデル都市

都市・地域の固有の条件や課題を前提とした地球温暖化対策の具体的な提案を募集し、温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を「環境モデル都市」として国が選定したものです。平成20年度に本市も含め6都市、平成21年度に7都市、平成24年度に7都市、平成25年度に3都市の計23都市が選定されました。

緊急輸送道路

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する幹線的な道路のことです。

グリーンインフラ

雨水や緑地などの自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方です。例えば雨水貯留・浸透は、雨水を土壌にしみ込ませて地下水を補充する仕組みです。これにより、水資源を保ち、都市の暑さや乾燥を和らげる効果があります。

交通結節機能

異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設です。交通結節点の具体的な施設としては、鉄道駅、バスターミナル、自由通路や階段、駅前広場やバス交通広場、歩道等が挙げられます。

こどもまちなかスペース

こどもが遊び、集い、自由に過ごせるスペース(空間)を、公園や市民センター等の公共施設や、民間事業者等にも協力いただき、市内各所に展開するものです。

【さ】

サイクルツーリズム

自転車を活用した観光振興のことで、『サイクリング・自転車』と『観光・旅行』を組み合わせたものです。自転車に乗りながら、地域の自然や地元の人々、食事、温泉といった多様な観光資源を五感で楽しむことを目的としたツーリズムを指します。

重要物流道路

平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として路線を指定した道路のことです。

主要渋滞箇所

福岡県渋滞対策協議会において、ICTを活用したデータを基に渋滞候補箇所の抽出を行い、パブリックコメントにより道路利用者の意見を踏まえ、「地域の主要渋滞箇所」を選定したものです。

浚渫（しゅんせつ）

河川や港湾などで水底の土砂等を掘りあげる工事のことです。

スキーム

計画、企画案や、政府や事業者などの施策のことです。

ストック効果

整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期に渡って得られる効果です。具体的には、移動時間の短縮等により経済活動における生産性を向上させる効果、生活環境の改善といった生活の質の向上効果、防災力の向上などの安全・安心効果があります。

ゾーン 30

生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。区域(ゾーン)を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制します。

【た】

対症療法型対策

発生した損傷や劣化等の影響を一時的に緩和するための対応のことです。例えば、コンクリートのひび割れに対して表面を補修したり、暴露した鉄筋を防錆剤で覆うといった対応など、構造全体の劣化原因を解決しないまま、一時的に劣化を遅らせる対策です。

都市計画道路

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための基盤施設として、都市の骨格を形成するものです。道路を低コスト・効率的に整備するため、都市計画法に基づいて道路の区域を決定し、区域内での建築行為に一定の制限を行います。

【な】

のり面

一般には、切取りまたは盛土によってつくられた人工的な傾斜面のことです。自然傾斜面ものり面ということがあります。

【は】

パークレット

主に路肩や停車帯を活用して滞留空間を生み出す取り組みで、歩道幅員が狭い道路での滞留空間の創出が期待されます。

ビッグデータ

文字どおり「巨大なデータ」のことです。データは、インターネットやセンサー、ソーシャルメディアなどから集められ、非常に大きく複雑で通常の方法では分析しにくいものです。このデータを分析することで、新しいトレンドを見つけることや、問題を解決することができます。

ペDESTリアンデッキ

大型の公共歩廊のことです。歩行者専用の大型の上空通路で、歩行者と車を分けて安全に通行できるように設計されています。建物と接続しており、広いものは広場やコミュニティスペースとしても利用されます。

【ま】

MaaS

Mobility as a Service(モビリティ アズ ア サービス)の略であり、スマートフォンなどのデジタルデバイスを通じて、様々な交通手段を一つのサービスとして統合し、利用者がよりスムーズに移動できるようにするコンセプトです。

枿(ます)

四角柱や円柱状の、水を溜めたり、汚水や泥を溜めるなどの機能を有するものを、建築・土木の業界では総称して枿と呼びます。

メガリージョン

大都市とその周辺の都市が集まってできる新しい経済圏です。この地域は、貿易や交通、イノベーション(新しいアイデアや技術によって製品やサービス、ビジネスの仕組みに変化を起こし、新たな価値を生み出すこと)の中心となり、世界中から人や物、お金、企業、情報が集まります。国境や行政の区分に関係なく、大都市を中心とした広いエリアを指します。

【ら】

ライフサイクルコスト

構造物の計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる一連の費用のことです。

リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害や事故などによるリスクを考慮し、主要なインフラや機能を複数のルートや手段で確保することで、国土全体の安全性や持続性を高める考え方です。道路や鉄道を複数整備して一方が使えなくなっても代替ルートで物流や移動を維持できるようにすることが交通ネットワークにおけるリダンダンシーの具体例です。

【わ】

わだち掘れ

アスファルト舗装面で、自動車の車輪の固定化する位置に生ずる道路延長方向の連続したへこみのことです。重量車の多い道路、急ブレーキ、発進する交差点付近などは特に多く発生しています。